

Information ①

日本アイスフラワーアカデミーが始動! 生徒を募集中です

アイスフラワーの基本から本格的な作品制作までみっちり学ぶことができます。待望のアカデミーが本格始動しました。現在ベーシックコースと認定講師の資格取得を目指すマスターコースを一貫して受講できる、3日間の短期集中コースを開講。4・5・6月の講座では、アカデミー公認の認定講師が誕生しました。現在、東京と大阪で教室を開講。詳細は電話にてお問い合わせください。

講義についての問い合わせ先
日本アイスフラワーアカデミー
電話/0120-087-942
東京教室/デイズ(松尾太一さんのアトリエ)
東京都港区東新橋2-18-2
グラデイト沙留ビアンコ1階
電話/03-3459-8787
交通/JR新橋駅下車徒歩5分
7月の講義/7月24日~26日
8月の講義/8月〇日~〇日
認定講師資格/取得されたかたは認定教室開室のため、アカデミーが全面的にバックアップします。

Information ②

アイスフラワーのご購入とお問い合わせ先

アイスフラワーはベルギーから直接入荷されます。約30種類のバラはもとより、ガーベラ、カーネーションなど、しなやかな風合いや色合いが何カ月も保たれます。それぞれの花の一番美しい時期に摘みますから、1年中すべての種類が揃っているわけではありません。数量に限りがありますので、購入ご希望のかたはもちろん、詳細は以下にお問い合わせください。

問い合わせ
株式会社テンマック
ホームページ/
http://www.iceflower.jp
電話/03-5298-3831

Profile

江口美貴

えぐち・みき / 大阪・東京を中心に全国でスクールを展開する「フラワーサロン・ミキアートスクール」主宰。年間約3000件のブライダルを手がけ、柱由美ブランドコレクションやバリコレ、テレビ界...と国内外で活躍するフラワーアーティスト。



茎がついた睡蓮のつぼみは、アイスフラワーのなかでもとりわけ自然体。がくが反りかえったり、「触れなば落ちん」というほどに咲いてしべを見せたり...。まるで大きな蓮の葉を巻いたような白い器に、さまざまに自由な花々をコラージュの感覚であしらいました。器と花を結ぶのは、ピュアな透明感のスケルトンの葉。器も花も葉も自然の一部、植物の一部です。●スイレン(ピンク茎付き)

器も花も葉も自然の一部になって、睡蓮のつぼみのコラージュ

Point

3 器との新しい関係も広がります

さまざまな咲き姿の睡蓮を、器の外にも生かす...。花と器との新しい関係です。スケルトンの繊細な葉脈と、器の大胆な葉脈と、ふたつの葉脈が花をさらにきれいに見せて。



Point

1 大輪も小輪も、花で花を創造します

真ん中が芍薬の本来の大きさ。アイスフラワーは花びらを外したり、また合わせたりして、新しい花を創造することができます。生花ではできない、自由な表現の可能性。



Point

2 ドライの枝やパールとの自由な共演

生花との一番の違いは水を必要とせず、花が輝き続けること。他素材との共演がさらに自由になりました。木枝で土台を作るツバイクテクニクによりドライの枝を組み、その枝にもスプレーで輝きをプラスして。



花の新しい可能性アイスフラワー 第四回
アイスフラワーという新しい花を、生花の時々の自然な美しさを保ちながら生花よりもさらに自由な表現ができる花として、花を創造する楽しさをもたらす存在としてとらえるフラワーデザイナーが少なくありません。切りたての花の美しい瞬間を閉じ込め、自然な風合いと繊細な色合いを留めたフリーストライの花。創造力に富むアイスフラワーの世界をお見せしましょう。

生花の時々の美しさを自然にもち続ける存在として、自由な表現を創造する新しい花として

アイスフラワーには、花だけでなく葉や茎の自然の美しさもそのまま閉じ込めた種類が、少数派ながら登場しています。スプレーバラやピンクの睡蓮のつぼみや...。「花の時々の美しさをそのまま取っておきたいという深い美学を、この花は感じさせます。茎も葉も自然なものは、特にそう。少しづつ生長して変化する花の姿や、「触れなば落ちん」という刹那の花びらの美しさは、生花ではなくアイスフラワーだからこそ長く留めておけるもの。ですからワイヤリングなどはあえて使わず、すべてが自然美の一部、という思いで作品を創造しました」と語る江口美貴さんとアイスフラワーとの出会いは、25年前。ドイツのデザイナー、グレゴール・レリッシュのオートリエで初めて目にしたベージュ色の芍薬に驚き、日本に持ち帰ったのだそうです。「25年ぶりに新たなアイスフラワーに出会って、その技術の進化と多彩な品種に感動しました。生花に近い存在として生花と共演させたり、デザイナーはいろいろ試したい花ですね。私にとって、アイスフラワーは、自然美の一部なのかも。その上で、自由に花を創造する楽しさのある花です」

さらなる自由な表現へ。

アイスフラワーの創造力

花と指導・江口美貴 撮影・栗林成城 構成と文・近藤小桃

散りゆく間際もなお美しく。ピンクからベージュへうつろう芍薬の色香

若々しいビビッドピンクの器から生まれ出たような大輪の芍薬が、成熟してベージュへとうつろう...。散りゆく間際まで美しい芍薬は、どこか女性の美しさにも似ています。ドライの枝を組んだリースの上に、それぞれに繊細な花色の芍薬とパールを輝かせます。アイスフラワーの自然な花色とうつろう色香が際立ちます。●シャクヤク(サラ・ベム)

次号以降もさまざまなアーティストが登場。アイスフラワーの可能性を広げる、高度なテクニックの作品をご紹介します。